

東日本大震災・原発事故と 日本共産党の救援活動

日本共産党は、1922年7月15日に創立され、今年90周年を迎えました。侵略戦争に反対し、国民が主人公の日本の実現をめざして活動してきた90年—つらぬいている立党の精神は、「そのときどきの国民の苦難を軽減するために全力を尽くす」という立場です。90年の歩みは、被災者の救援に全力をあげてきた歴史でもあります。

● 三陸大津波 1933年



大津波の被害救済にとりくんだ大崎無産者診療所のメンバー。座っている女性向かって左が党員の砂間秋子さん 1934年4月(『愛情は鉄窓をこえて』砂間良一編から)

● 阪神・淡路大震災 1995年



緊急の飲料水を西宮市に届ける日本共産党 大阪・河南地区の党員 1995年1月19日

東北地方太平洋沖地震による 災害への救援を訴えます

三月十日 日本共産党東北地方太平洋沖地震対策本部

11日、14時46分発生した東北地方太平洋沖地震は、日本列島の有史以来最大の巨大地震とされ、地震と津波による被害は甚大なものとなっています。被災者は、命の危険にさらされている方々、行方不明の方々の救助と捜索をおこなうこと、火災災害や、原子力災害などの危険を除去す

るために手をあげるべきです。日本共産党は、そのために政府にあらゆる手を尽くすことを強く求めています。同時に、全国のすべての党機関、地方議員、党支部、党員のみならず、被災者の方々の実態と要望をつかみ、その苦しみに応える活動をおこないます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、巨大地震と津波による甚大な被害のうえに、福島第一原発事故が重なり、その被害は戦後未曾有の規模に達しました。

日本共産党は、震災直後から、被災地の党組織を先頭に全国的な救援活動を継続しています。

志位委員長、市田書記局長を 先頭に被災地へ



津波被害調査
2011年3月2日

千葉・旭市に

長野・栄村に



2011年3月30日



避難所で

被災住民を見舞い、要望を聞く
2011年3月27日 福島市



JA宮城へ

菅原章夫JA宮城中央副会長(右)と
2011年5月8日 仙台市



漁協と

大井誠治岩手県漁連会長(左)から要望書を受け取る
2011年5月7日 宮古市



知事と

佐藤雄平福島県知事(右)と懇談
2011年5月9日 福島市



原発事故の 避難者と

「計画的避難地域」の
山木屋地域住民の要望を
聞く 2011年5月9日



商工会議所へ

浅野亨会頭(正面右から2人目)らと
2011年5月8日 宮城県石巻市



岩手・ 陸前高田市に

2011年5月7日